

小児期からのステロイド使用後に手指症状が消失し長期安定した成人アトピーの経過 (39 歳 女性)

症例 ID：001-30-OY4 | 記録日：2015 年 5 月 16 日

1. 診断・治療前経過

小児期からアトピーがあり、成人までステロイド外用を続けました。社会人となり一人暮らしを始めた頃、全ての手指に水疱、浸出液、痂皮が繰り返し出るようになりました。

手指にティッシュと絆創膏を巻いて出勤する状態となり、約 20 年前に治療を開始しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	小児期から成人までステロイド外用薬を使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	小児期から成人期までです。
中止時期	約 20 年前の治療開始時です。
来院前／後	来院前に長期使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
小児期～成人期	長期経過	皮膚症状に対してステロイド外用を続けました。
社会人期	手指悪化	全ての指に水疱、浸出液、痂皮が繰り返し出しました。
約 20 年前	治療開始	煎じ薬などによる治療を開始しました。
治療経過中	皮膚の変化	肘関節部の強い赤みと盛り上がりが薄くなり、正常な皮膚が出てくる変化を感じました。
1 年未満	経過後	症状は短期間で軽減し、受診を終了しました。
その後約 20 年	長期経過	皮膚トラブル時にもステロイドを使用せず生活しました。

4. ピーク時期

ピークは、全ての手指に水疱と浸出液、痂皮が繰り返し出て、ティッシュと絆創膏を巻いて出勤していた時期です。

5. 困りごと

- 手指の浸出液により、毎日の保護処置が必要でした。
- 肘関節部の赤みと皮膚の盛り上がりが長く残りました。

6. 経過のまとめ

治療開始後 1 年未満で手指と関節部の症状は大きく軽減し、その後約 20 年間、ステロイドを使用せず生活しました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。